3-868-323-**03** (1)

ビデオカメラレコーダー Hi8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

video Hi8 Handycam

CCD-TRV80PK

目次

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

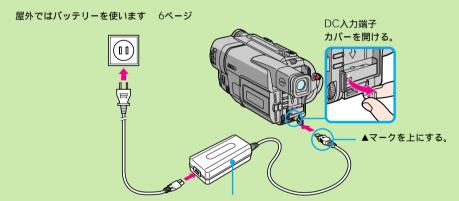
液晶画面、ファインダーおよびレンズについて

液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがありますが、故障ではありません（99.99%又はそれ以上の割合で画面上は正常に動きます）。これらの点は、テープに記録されません。液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

本書内の写真について

液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

とにかく撮って見る

ここでは本機の使い方を簡単に説明します。
詳しくは（　）内のページをご覧ください。

1 電源をつなぐ（9ページ）

屋外ではバッテリーを使います →6ページ

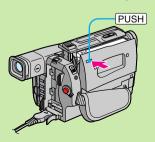
2 カセットを入れる（10ページ）

❶ **青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。**

押しながら

❷ **カセットを入れる。**

テープ窓

❸ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める（カセット入れは自動で下がります）。**

3 撮影する（11ページ）

❶ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

❷ OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。

ファインダー
液晶画面を閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。
ファインダーに映る画像は白黒です。

❸「スタンバイ」にする。
液晶画面に画像が見える。

❹ 赤いボタンを押す。
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

4 液晶画面で見る（18ページ）

❶ 緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。

❷ ◀◀を押してテープを巻き戻す。

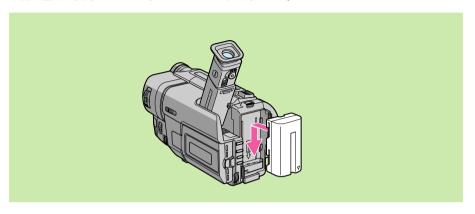
❸ ▶を押すとテープが再生される。

ご注意

ファインダーや液晶画面またはバッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

準備1 電源を準備する

バッテリーを取り付ける

本機を屋外で使用するときは、バッテリーを取り付けます。

バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

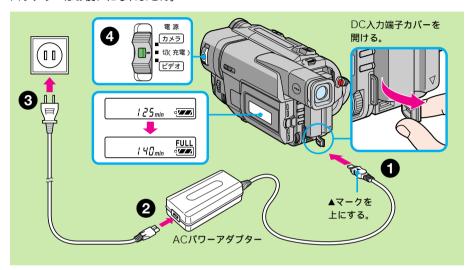
バッテリーを押しながらカチッとロックするまで下へずらす。

本体から取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリーを上へずらし、取りはずす。

バッテリーを充電する

バッテリーは充電してからお使いください。本機でバッテリーの充電ができます。
本機の電源には、“インフォリチウム”バッテリー（Lシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。

準備

ご注意

- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- バッテリーは水にぬらさないでください。
- バッテリーを使用せずに長期間保管するときは、一度満充電してから使い切り、涼しい場所に保管してください。

表示窓に表示されるバッテリー残量時間は
ファインダーを使用したときの連続撮影時間の目安です。

バッテリーは
お買い上げ時に若干充電されています。

1 ACパワーアダプターを本機のDC入力端子につなぐ。
DC入力端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

2 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

4 電源スイッチを「切（充電）」にする。
充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。
充電が終わると、バッテリー残量表示が「⊠」になる**（実用充電）**。さらに約1時間、「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える**（満充電）**。

充電が終わったら

ACパワーアダプターをDC入力端子から抜く。

次のページへつづく

バッテリー残量を計算するまでは
表示窓には“－－－－min ”が表示されます。

海外でも充電できます
詳しくは54ページをご覧ください。

バッテリー充電中、以下の場合表示窓に何も表示が出ない、または表示が点滅したりします
- バッテリーが正しく取り付けられていない。
- ACパワーアダプターが外れている。
- バッテリーが故障している。

撮影中のバッテリー残量時間表示
使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。液晶画面を開閉したときは、正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

バッテリー残量の表示時間が充分なのに電源がすぐ切れる時は
再度満充電すると正しく表示されます。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持ったリチウムイオンバッテリーです。本機は“インフォリチウム”バッテリー（Lシリーズ）対応です。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリー（L シリーズ）には InfoLITHIUM L SERIES マークがついています。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

充電時間

バッテリー	満充電時間（実用充電時間）
NP-F330（付属）	150（90）
NP-F530/CF540/F550	210（150）
NP-F730/F750	300（240）
NP-F930/F950	390（330）
NP-F960	420（360）

使い切ったバッテリーを充電したときの時間（約　分）。

撮影時間

バッテリー	ファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-F330（付属）	140（125）	75（70）	120（105）	65（55）
NP-F530	245（220）	135（120）	205（180）	110（100）
NP-CF540	280（250）	155（135）	235（210）	130（115）
NP-F550	280（250）	155（135）	240（210）	130（115）
NP-F730	500（450）	275（245）	410（370）	225（205）
NP-F750	580（525）	320（290）	490（440）	270（240）
NP-F930	780（705）	430（385）	650（585）	355（320）
NP-F950	900（790）	495（435）	750（675）	410（370）
NP-F960	1035（930）	570（510）	880（790）	490（440）

満充電（（　）内は実用充電）してからの時間（約　分）。
* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。
** 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。
NP-500/510/710はお使いになれません。

再生時間

バッテリー	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-F330（付属）	125（110）	145（130）
NP-F530	215（190）	260（230）
NP-CF540	245（220）	295（265）
NP-F550	250（220）	295（260）
NP-F730	430（385）	525（475）
NP-F750	510（460）	610（550）
NP-F930	680（610）	825（740）
NP-F950	780（700）	930（830）
NP-F960	915（820）	1090（980）

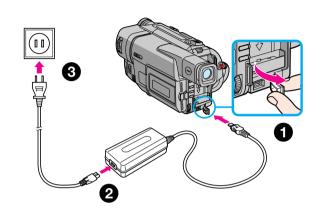
満充電（（　）内は実用充電）してからの時間（約　分）。
低温では使用時間が短くなります。
NP-500/510/710はお使いになれません。

コンセントにつないで使う

ご注意

- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC入力端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC入力端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

自動車の電源では
別売りのDCパワーアダプター／チャージャーでお使いになれます。

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

❶ **ACパワーアダプターを本機のDC入力端子につなぐ。**

DC入力端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

❷ **電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。**

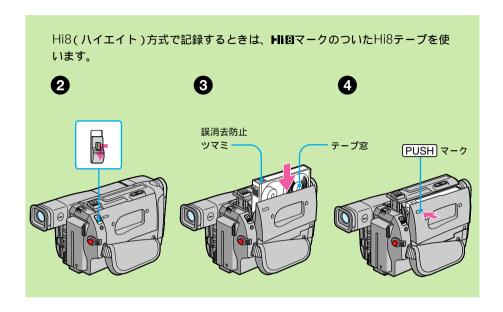
❸ **電源コードをコンセントにつなぐ。**

準備

準備2 カセットを入れる

Hi8（ハイエイト）方式で記録するときは、Hi8マークのついたHi8テープを使います。

❷ ❸ ❹

誤消去防止ツマミ

テープ窓

PUSH マーク

ご注意

カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。

間違って消さないために

カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。

❶ **電源を準備する。**（6ページ）

❷ **カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。**

カセット入れが自動的に上がって開く。

❸ **カセットを入れる。**

テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にして入れる。

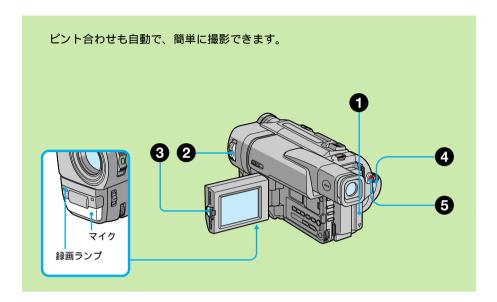
❹ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。**

カセット入れが自動的に下がる。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

グリップベルトをしっかりしめてください。
マイクに手が触れないようにしてください。

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、きれいにつながります。バッテリーの交換時はスタンバイスイッチを「ロック」にしてください。

撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるにはスタンバイスイッチを１度「ロック」にしてから、「スタンバイ」に戻します。

テープカウンターを「0：00：00」にするときは
カウンターリセットボタンを押します（59ページ）。

❶ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1、2」（6〜10ページ）をご覧ください。

❷ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

レンズカバーが開く。

❸ OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。

ファインダーの画像は消える。

❹ スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

次のページへつづく

❺ スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まり、録画ランプが点灯する。
もう一度押すと止まる。
ファインダーで撮影中はファインダー内に録画ランプが点灯します。

ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は
屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーのご使用をおすすめします。

対面撮影では
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

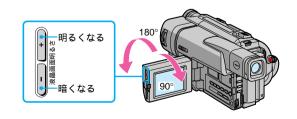
対面撮影中は
日付・時刻ボタンは働きません。

対面撮影中の表示
- 撮影スタンバイ中は❚❚●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。
- オートデート機能が働いているとき、日付表示は左右が反転します。ただし、記録される日付は反転されません。

撮影が終わったら

1. **スタンバイスイッチを「ロック」にする。**
2. **液晶画面を閉じる。**
3. **カセットを取り出す。**
4. **電源スイッチを「切（充電）」にする。**
5. **バッテリーを取り外す。**

液晶画面を調整する

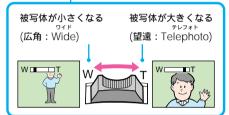
液晶画面の明るさは、液晶画面明るさボタンを押して調節します。
また液晶画面はレンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。
撮影スタンバイ中に液晶画面を180°回転させると、液晶画面とファインダー内にも☺が出ます。（**対面撮影モード**）

液晶画面を閉じるときは、液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻します。

近くのものにピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は80倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。

ズームする

ズームレバーを動かす。

軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。使いすぎると見づらい作品になります。

20倍を超えるズームはデジタルズームになります。

デジタルズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。(37ページ)

画像をデジタル処理するため画質が低下します。

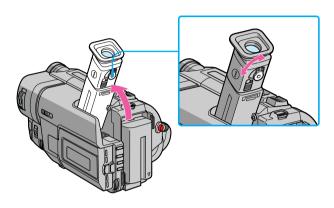
このラインよりT側がデジタルズームになります。メニューで「デジタルズーム」の倍率を選ぶと表示されます。

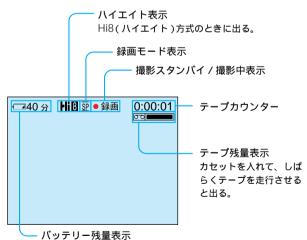
撮る

次のページへつづく

ファインダーで撮影する － 視度調整

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように、調整します。

ファインダーを上げて、視度調整つまみを動かす。

撮影中の表示

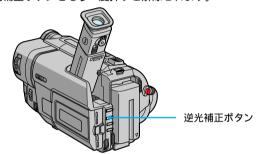
これらの表示はテープには記録されません。

逆光補正をする

逆光補正中に明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映る時などに明るさの補正をします。

［撮影中］または［撮影スタンバイ中］に逆光補正ボタンを押す。

液晶画面またはファインダー内に逆光補正表示が出ます。

逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。

暗闇で撮る－NIGHTSHOT（ナイトショット）

ご注意

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくい時は、マニュアルフォーカスをご使用ください。

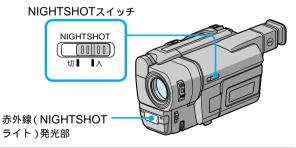
NIGHTSHOT中は以下の操作ができません

- 明るさ調節
- プログラムAE

NIGHTSHOTライトは
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影することができます。

［撮影スタンバイ中］にNIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

液晶画面またはファインダー内にNIGHTSHOT表示 と“ NIGHTSHOT ”が点滅します。
NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

NIGHTSHOTライトを使う

NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューで「N.S.ライト」を「入」にします。（37ページ）

撮る

次のページへつづく

日時を入れる

ご注意

手動で記録した日時は消せません。

画面に日時を重ねて記録しないときは
あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影の時は日時を消しておくことをおすすめします。

日付・時刻を画像にかさねて記録します。
撮影中または撮影スタンバイ中に以下のボタンを押す。

日付ボタン→日付を記録する。
時刻ボタン→時刻を記録する。
日付ボタンと時刻ボタン→日付と時刻を記録する。

ボタンをもう一度押すと日時の表示は消えます。

次の撮影開始点を探す
−エンドサーチ／エディットサーチ／レックレビュー

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

エディットサーチボタン

エンドサーチボタン

ご注意

エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると、まれに場面がきれいにつながらないことがあります。

撮影後、カセットを取り出すと
エンドサーチの機能は働きません。

エンドサーチ

最後に撮影した終わりの部分に戻ります。

[撮影スタンバイ中] にエンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。
スピーカーまたはイヤホンで音も確認できる。

エディットサーチ

次の撮影開始点を探します。

[撮影スタンバイ中] にエディットサーチ＋／−ボタンを押し続ける。 画像が再生される。

＋　：場面を進める

−⊖：場面を戻す

指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

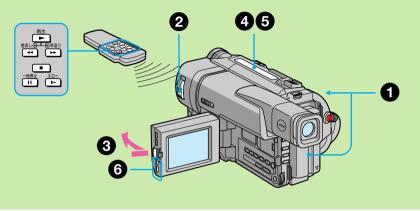
レックレビュー

最後の場面を確認します。

[撮影スタンバイ中] にエディットサーチボタンの−⊖側をポンと1回押す。

最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。
スピーカーまたはイヤホンで音も確認できる。

再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。リモコンでも操作できます。

液晶画面が見にくいときは
液晶画面の角度を調節します。

15°まで回転します。

❶ **バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。**

❷ **緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。**

❸ **OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。**

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

180°回転させる。　閉じる。

❹ **巻戻しボタンを押す。**

巻き戻しが始まる。

❺ **再生ボタンを押す。**

画像が映る。

❻ **音量ボタンを押して、音量を調節する。**

液晶画面を閉じているときは、音が出ません。

再生を止める

■停止ボタンを押す。

画面表示を出したり消したりする

本体またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出る。消すときはもう1度押す。

見る

変速再生中は
音声は出ません。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度►再生ボタンを押します。

スロー再生について
1分以上続くと自動的にふつうの再生に戻ります。

LPモードで録画したテープは
一時停止（静止画）、スロー再生、ピクチャーサーチすると、画面にノイズが出ることがあります。

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

静止画を見る

[再生中] に❚❚一時停止ボタンを押す。
►再生ボタンまたは❚❚一時停止ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中] に►►早送りボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中] に◄◄巻戻しボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り／巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

[再生中] に►►早送り／◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

[早送り中] または [巻き戻し中] に►►早送り／◄◄巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

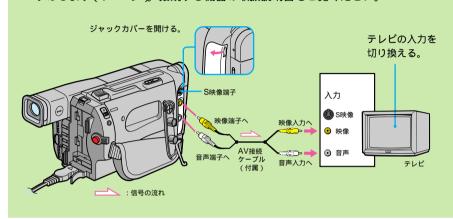
スロー画を見る

[再生中] にリモコンの❚►スローボタンを押す。
►再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

[停止中] にエンドサーチボタンを押す。
最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（9ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

別売りのS映像ケーブルを使うと再生画像がより鮮明になります。
テレビにS映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS映像端子とテレビのS映像端子を接続します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

映像／音声入力端子のないテレビにつなぐとき

別売りのRFUアダプター（NTSC方式）でつなぐ。

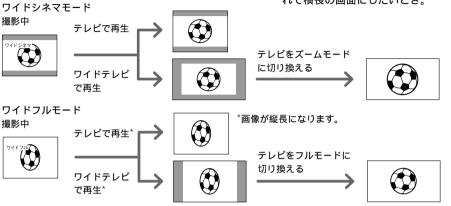
テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。

見る

次のページへつづく

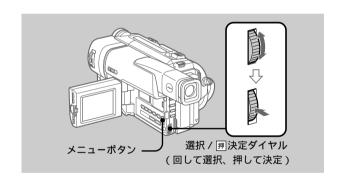
横長の画面にする－ワイドTVモード

再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

• ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき。
• ふつうのテレビで上下に黒い帯を入れて横長の画面にしたいとき。

ID-1対応／S1対応のワイドテレビとつなげば
自動的に画面いっぱいに映ります。ID-1方式はビデオIDシステム、S-1方式はS映像端子におけるビデオIDシステムです。

ワイドTVモード中は
フェーダーのバウンドの操作はできません。

日付・時刻表示は
「ワイドフル」で記録すると、ワイドテレビで見る場合は横長の文字になります。

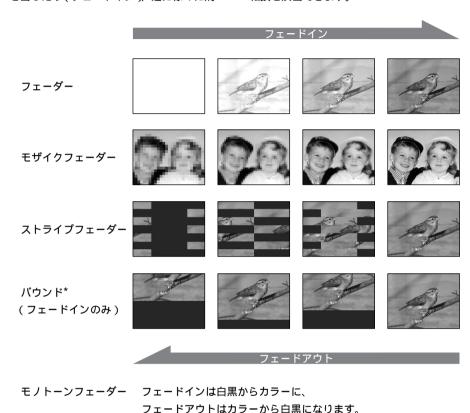
録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。
ワイドTVモードを解除するときは、必ず「撮影スタンバイ」にしてから、メニューで「ワイドTV」を「切」にしてください。

[撮影スタンバイ中] に
メニューで「ワイドTV」を「ワイドシネマ」か「ワイドフル」にする。（37ページ）

ワイドTVモードを解除する

メニューで「ワイドTV」を「切」にする。

効果的な場面転換をする－フェーダー

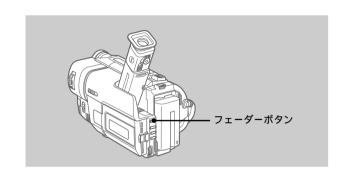
余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

モノトーンフェーダー　フェードインは白黒からカラーに、フェードアウトはカラーから白黒になります。

* メニューで「デジタルズーム」が「切」になっているときのみ使えます。

次のページへつづく

日付や時刻表示、タイトルはフェードしません
不要の場合は日付、時刻表示、タイトルを消してから行ってください。

バウンド中には以下の操作ができません
- フォーカス
- ズーム

以下の操作中にはバウンドが表示されません
- メニューの「デジタルズーム」で倍率を選択しているとき
- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクト
- プログラムAE

❶ • フェードインは［撮影スタンバイ中］に
• フェードアウトは［撮影中］に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。

押すたびに変わります。
フェーダー→モザイクフェーダー→ストライプフェーダー→バウンド→モノトーンフェーダー→（表示無し）

表示は前回使ったモードから表示されます。

❷ **スタート/ストップボタンを押す。**
フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

スタート／ストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、フェーダーモード表示を消す。

画像に特殊効果を加える－ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。

パステル
→淡い色のパステル画のように

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

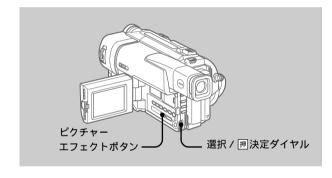
モザイク
→タイルを組み合わせたように

スリム
→縦に引き伸ばしたように

ストレッチ
→横に引き伸ばしたように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

電源スイッチを「切（充電）」にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。

ピクチャーエフェクト中はフェーダーのバウンドの操作はできません。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**ピクチャーエフェクトボタンを押す。**

ピクチャーエフェクト表示が出る。

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して希望のピクチャーエフェクト表示を出す。**

モザイク

次の順で変わります。
パステル←→ネガアート←→セピア←→モノトーン←→ソラリ←→モザイク←→スリム←→ストレッチ

ピクチャーエフェクトを解除する

もう一度ピクチャーエフェクトボタンを押す。

撮影状況に合わせて撮る – プログラムAE

写体や撮影状況により適した調節を自動的に
行

スポットライトモード
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。

スポーツレッスンモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

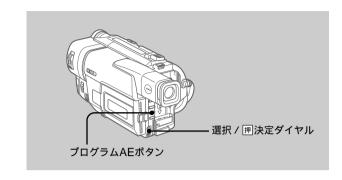
ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

ご注意

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  －スポットライトモード
  －スポーツレッスンモード
  －ビーチ＆スキーモード
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  －サンセット＆ムーンモード
  －風景モード
- プログラムAE中はフェーダーのバウンドの操作はできません。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしているときプログラムAEモードは使えません。（表示が点滅します。）

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると
次のモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。
– ソフトポートレートモード
– スポーツレッスンモード

❶ [撮影スタンバイ中] に
プログラムAEボタンを押す。

プログラムAEモード表示が出る。

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して希望のプログラムAEモード表示を出す。**

次の順で変わります。
スポットライトモード↔ソフトポートレートモード↔スポーツレッスンモード↔ビーチ&スキーモード↔サンセット&ムーンモード↔風景モード

プログラムAEを解除する

もう一度プログラムAEボタンを押す。

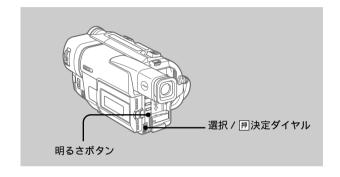
手動で画像の明るさを調節する

画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。

- 逆光補正を細かく行いたいとき。
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき。
- 夜景を撮りたいときなど。

ご注意

明るさ調節しているときは逆光補正は働きません。

以下のとき、明るさ調節は自動に戻ります
- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**明るさボタンを押す。**

明るさ表示が出る。

❷ **選択／押 決定ダイヤルを回し、明るさを調節する。**

自動調節に戻す

もう一度明るさボタンを押す。

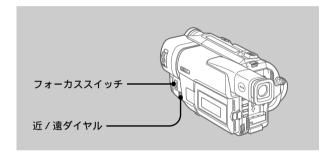
手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

- 自動ではピントが合いにくいとき。
  – 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
  – 被写体が横縞だけのもののとき
  – 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えるとき。
- 三脚を使い、静止した被写体を撮るとき。

正確にピントを合わせるには
ズームをT側（望遠）でピントを合わせたあと、なるべくW側（広角）で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

近づいて大きく撮るとき
ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。
- 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**フォーカススイッチを「手動」にする。**
手動ピント合わせ表示が出る。

❷ **近／遠ダイヤルを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻す

フォーカススイッチを「自動」にする。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカススイッチを「無限」に合わせると、ピントは無限遠になり、の表示が出る。

指を離すとピント合わせが手動に戻る。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがあってしまうときに使います。

使いこなすー撮影ー

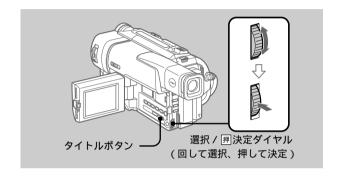
タイトルを入れる

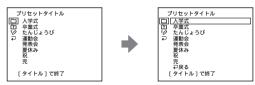
撮影中にタイトルを入れることができます。あらかじめ記憶している8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（32ページ）の中から内容にあったものを選べます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

ご注意

タイトル文字のサイズや位置によっては、日付・時刻表示の両方、または片方が表示されないことがあります。

タイトルを入れて撮影しているときは
メニューを出すとメニューが出ている間はタイトルが記録されません。

オリジナルタイトルを入れるときは
手順2で「[T]」を選びます。オリジナルタイトルが作成されていないと、タイトル表示欄に「−−−...」と表示されます。

❶ [撮影スタンバイ中]に
タイトルボタンを押す。

❷ **選択／押決定ダイヤルを回して「□」を選び、押して選択する。**

設定表示と表示順

- 「色設定」
  しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお
- 「サイズ設定」
  ちいさい←→おおきい
  13文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。
- 「位置設定」
  1←→2←→3←→4←→5←→6←→7←→8←→9
  大きい数字になるほど位置が下になります。
  サイズ設定で「おおきい」を選んだときは、9の位置は選べません。
  ワイドシネマモード中に、サイズ設定で「おおきい」を選んだときは、8または9の位置は選べません。

タイトルの選択／設定操作をしているときは
画面に出ているタイトルは記録できません。

撮影の途中でタイトルを入れるときは
おしらせブザーは鳴りません。

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して入れたいタイトルを選び、押して決定する。

タイトルが点滅する。

❹ 色、サイズ、位置を選択する。

表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順5にすすむ。

1 選択／押決定ダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。
選べる項目が出る。

2 選択／押決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。

3 必要なだけ1、2を繰り返す。

❺ 選択／押決定ダイヤルを押して、タイトルを表示させる。

❻ 撮影を始める。

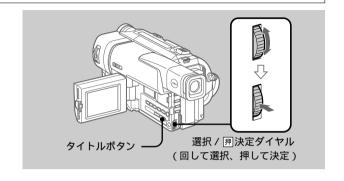
❼ タイトルを消したい場面でタイトルボタンをもう一度押す。

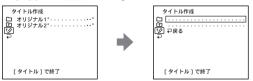
撮影の途中でタイトルを入れるとき

撮影中にタイトルボタンを押し、手順2から5を行う。手順5で選択／押決定ダイヤルを押した時、タイトルが入る。

オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類
まで本機に記憶できます。

撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます
それまで作成したタイトルは残っています。1度スタンバイスイッチを下げてからもう1度上げて、はじめからやり直してください。
5分以上かかりそうなときはビデオにしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

1 ［撮影スタンバイ中］または［ビデオ］のとき
タイトルボタンを押す。

2 **選択／押決定ダイヤルを回して「T✎」を選び、押して決定する。**

3 **選択／押決定ダイヤルを回して1行目または2行目の「–––…」を選び、押して決定する。**

1行目はオリジナル1。2行目はオリジナル2。

[きごう] を選ぶと
アルファベットや数字などが選べる画面が出ます。[かな] を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき
[←] を選びます。一番後ろの文字が消えます。

漢字変換機能は
ありません。[きごう] にある漢字以外をタイトルに使うことはできません。

空白を入れたいときは
[− & ？!] の文字列の空白の部分を選んでください。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して希望の文字列を選び、押して決定する。

❺ 選択／押決定ダイヤルを回して希望の文字を選び、押して決定する。

❻ 手順4、5を繰り返して希望のタイトルを作る。

❼ 選択／押決定ダイヤルを回して [完成] を選び、押して決定する。

タイトルが記憶される。

❽ タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。

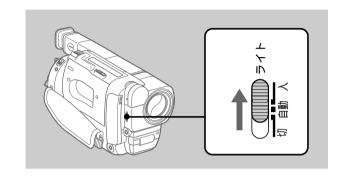
作成したタイトルを変更する

手順3で、変更したいオリジナルタイトルを選び、ダイヤルを押す。[←] を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

内蔵ビデオライトを使う

撮影状況に応じて、内蔵ビデオライトをお使いください。
被写体との距離を約1.5mとってください。

ご注意

- 内蔵ビデオライトが点灯中は、バッテリーが早く消耗します。お使いならないときはライトスイッチを「切」にしてください。
- 本機をお使いにならないときはライトスイッチを「切」にし、バッテリーを取りはずしてください。誤って内蔵ビデオライトが点灯することがあります。
- 自動モードで撮影中フリッカー（画面が明るくなったりする現象）が起こることがあります。このような場合にはライトスイッチを「入」にしてください。
- 自動モードにしてプログラムAEや逆光補正を行っているときは、内蔵ビデオライトが自動で点灯したり消灯したりします。
- カセットを出し入れするときに内蔵ビデオライトが消えることがあります。
- エンドサーチが働いているときは、内蔵ビデオライトは点灯しません。

[撮影スタンバイ中]
ライトスイッチを「入」にする。

内蔵ビデオライトが点灯する。
スタンバイスイッチを「スタンバイ／ロック」に切り換えると、連動してライトも「入／切」します。

内蔵ビデオライトを消すには

ライトスイッチを「切」にする。

自動で内蔵ビデオライトを点灯させる

ライトスイッチを「自動」にする。
周囲の明るさによって内蔵ビデオライトが自動で入／切します。ただし、5分以上点灯したままですと、内蔵ビデオライトは自動で切れます。このような場合はスタンバイスイッチを1度「ロック」にしてから、「スタンバイ」に戻します。

ランプを交換するには

交換用ランプは別売りのソニー製ハロゲンランプXB-3Dをお使いください。本機に装着されているランプは市販されていません。ソニー製ハロゲンランプXB-3D をお買い求めください。

1 内蔵ビデオライトの側面にある穴を針金のようなもので押し、内蔵ビデオライトを取りはずす。

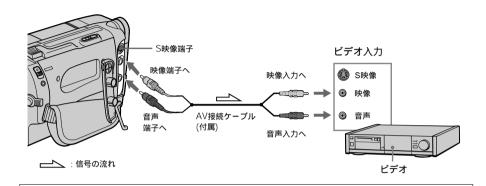
2 ランプホルダーを矢印の方向にまわしランプを取りはずす。

3 ランプを乾いた布などで持ち交換する。

4 ランプを時計方向にまわしてランプホルダーに取り付け、内蔵ビデオライトを取り付ける。

他のビデオへダビングする

付属のAV接続ケーブルでつなぐ

再生側　**録画側**

カウンターなど画面表示を出しているときは
録画側のテープに記録されます。表示を消しておくことをおすすめします。

録画側は以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, VHS, VHS C, S VHS, S VHS C, β, ED Beta, Mini DV, DV, D8

別売りのS映像ケーブルを使うと録画画像がより鮮明になります
ビデオにS映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子（映像）のかわりに別売りのS映像ケーブルを接続することをおすすめします。
本機のS映像端子とビデオのS映像端子を接続します。

❶ カセットを準備する。

本機　：撮影ずみのカセットを入れる。
録画機：ダビングしたいカセットを入れる。

❷ 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチを「外部入力」にする。
詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

❸ 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

❹ 本機で再生する。

❺ 録画機で録画をはじめる。

詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

録画機で録画を停止する。
本機で再生を停止する。

ダビングによる画質の劣化を防ぐには

あらかじめメニューで「エディット」を「入」にして録画する。

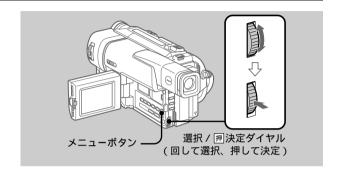
メニューで設定を変える

画面上のメニュー項目を、選択／押決定ダイヤルで選択し、本機のお買いあげ時の設定を一部変更することができます。

次の順で選択します。

メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は
以下のアイコン（絵文字）で区別されています。

- ☒ カメラ設定
- ☒ ビデオ設定
- ☒ パネル設定
- ☒ テープ設定
- ☒ 初期設定
- ☒ その他

1 [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のとき
メニューボタンを押す。

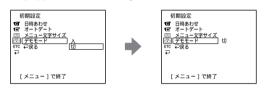
撮影スタンバイ中のとき
（「カメラ」のとき）

「ビデオ」のとき

2 **選択／押決定ダイヤルを回して希望のアイコンを選び、押して決定する。**

次のページへつづく

❸ 選択／押決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。

❹ 選択／押決定ダイヤルを回して設定を切り換え、押して決定する。

❺ 必要なだけ手順2〜4を繰り返す。

手順2に戻るには、選択／押決定ダイヤルを回して「↩戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」（39ページ）ご覧ください。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
デジタルズーム	●切	デジタルズームが働かない。20倍までのズームが働く。	「カメラ」
	40×	ズームが20倍を越えると40倍までデジタルズームが働く。（13ページ）	
	80×	ズームが20倍を越えると80倍までデジタルズームが働く。（13ページ）	
ワイドTV	●切	ー	「カメラ」
	ワイドシネマ	ワイドシネマモードで撮影する。（22ページ）	
	ワイドフル	ワイドフルモードで撮影する。	
N.S.**ライト**	●入	NIGHTSHOTライトを使用する。（15ページ）	「カメラ」
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
エディット	●切	ー	「ビデオ」
	入	ダビング・編集で本機を再生機として使うときに、画質劣化を低減する。	
TBC	●入	ジッター（再生時の画像の横ユレ）を低減する。	「ビデオ」
	切	画像の乱れ補正が働かない。 ダビング等を繰り返したり、ゲーム機の信号などを記録したテープを再生するとき	

TBCとは Time（タイム） Base（ベース） Corrector（コレクター） の略です。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
DNR	●入	画像の色ノイズを目立たなくする。	「ビデオ」
	切	動きの激しい画像のとき残像が目立たなくなる。	

DNRとは Digital（デジタル） Noise（ノイズ） Reduction（リダクション） の略です。

電源をはずして5分以上たつと
「リモコン」、「エディット」はお買い上げ時の設定に戻ります。
その他のメニュー項目は、ボタン型リチウム電池が入っていれば、電源をはずしても設定を保持します。

次のページへつづく

メニューで設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
パネルバックライト	●明るさノーマル	液晶画面の明るさを標準にする。	「ビデオ」「カメラ」
	明るい	液晶画面を明るくする。	
パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを選択/押決定ダイヤルを回し、バーで調節する。 うすい ▲ こい	「ビデオ」「カメラ」
録画モード	●SP	SP（標準）モードで録画する。	「カメラ」
	LP	SPモードの2倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。	
ORC設定		テープに最適な状態で録画設定する。スタート／ストップボタンを押すと設定がはじまる。約10秒で撮影スタンバイに戻る。 ORCとはOptimizing the Recording Condition（オプティマイジング ザ レコーディング コンディション）の略です。	「カメラ」
テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。 • 電源／テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。• ►再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。• 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	「ビデオ」「カメラ」
	入	テープ残量を常に表示する。	

パネルバックライトについて
バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

LPモードについて
- 本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。他のビデオ機器で再生すると、映像や音声にノイズが出ることがあります。
- 他のビデオ機器のLPモードで録画したテープを本機で再生する場合も映像や音声にノイズが出ることがあります。
- LPモードで録画するとスタンダード8ミリ方式で録画されます。

ORC設定は
- カセットを取り出すと設定が解除されます。
  カセットを入れるたびに設定し直してください。
- カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープにはORC設定はできません。
- 録画済みのテープにORC設定をすると約0.1秒間の無記録部分ができます。ただし、その部分から続けて撮影すれば無記録部分はなくなります。
- ORC設定を確認するときはメニュー画面を出して、「ORC設定」を選びます。
  「完了」表示が出たらORCは設定済です。

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
日時あわせ		日付・時刻を合わせ直す。（43ページ）	「カメラ」
オートデート	●入	1日1回撮影のはじめ10秒間、オートデート機能が働く。	「カメラ」
	切	オートデート機能を解除する。	
メニュー文字サイズ	●ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	「ビデオ」「カメラ」
	2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	
デモモード	●入	本機の機能を一覧できる。	「カメラ」
	切	デモンストレーションを表示しない。	

デモモードについて

- カセットが入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。
  カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切（充電）」にし、「カメラ」に戻します。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、NIGHTSHOT表示が現れ、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」が選べません。

次のページへつづく

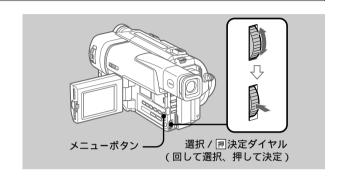
メニューで設定を変える（つづき）

アイコン／項目	設定	設定の意味（参照ページ）	電源スイッチの位置
ETC **時差補正**		時差の設定をする。 選択／押決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。	「カメラ」
おしらせブザー	●メロディー	撮影スタート／ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。	「ビデオ」 「カメラ」
	ノーマル	メロディーのかわりにブザーが鳴る。	
	切	メロディー、ブザー音が鳴らない。	
リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	「ビデオ」 「カメラ」
	切	リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。	
画面表示	●パネル	カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	「ビデオ」 「カメラ」
	ビデオ出力／パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	
録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	「カメラ」
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。	

日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。

ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。

電源を取り付けていないときにボタン型リチウム電池が消耗したとき。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

1 ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押す。

2 **選択／押決定ダイヤルを回して「🧰」を選び、押して決定する。**

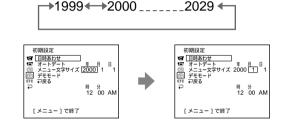
3 **選択／押決定ダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、押して決定する。**

次のページへつづく

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

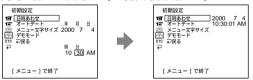
オートデート機能について
メニューでオートデート機能の「入」「切」を変えることができます。次のときはオートデート機能が１日2回以上働きます。
- 日時を合わせ直したとき
- カセットを入れ換えたとき
- 10秒間以内に撮影を止めたとき
- メニューで「オートデート」を「切」にしてからまた「入」に戻したとき

❹ 「年」を合わせる。

選択／押決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して決定する。
年表示は次のように変わる。

❺ 手順4と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

❻ 「分」と「秒」を合わせる。

選択／押決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と同時に押して決定する。時計が動き始める。

❼ メニューボタンを押す。

メニュー画面が消え、時刻表示が出る。

日付・時刻を確認する

日付を確認する→日付ボタンを押す。
時刻を確認する→時刻ボタンを押す。
日付と時刻を同時に確認する→日付ボタンと時刻ボタンを押す。
もう1度押すと消える。

オートデート機能

本機を初めてお使いになるときは、撮影する前に日付、時刻を合わせ直してください。（43ページ）1日1回、撮影のはじめの10秒間に撮影日が自動的に記録されます。

使えるビデオカセットと記録・再生方式

記録・再生するときのテープの種類

本機ではHi8（ハイエイト）テープ▣とスタンダード8ミリテープ▣が使えます。

Hi8（ハイエイト）テープ：
自動でHi8方式の録画→再生
スタンダード8ミリテープ：
自動でスタンダード8ミリ方式の録画→再生

ただしHi8テープを使ってLPモードで録画した場合、スタンダード8ミリ方式で録画されます。
他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

Hi8方式:従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。
Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生できません。

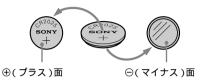
8は商標です。

Hi8は商標です。

ボタン型リチウム電池を交換する

電源をつけたまま交換します。

ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入／切に関係なく保持するためです。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。

電源スイッチを「カメラ」にすると液晶画面またはファインダーに「ボタン型リチウム電池を取りかえてください」のメッセージが出るとき。

ボタン型リチウム電池について

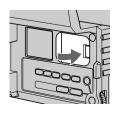
- ボタン型リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

お買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は
1年もたないことがあります。

❶ **液晶画面を開け、ボタン型リチウム電池ぶたを開ける。**

❷ **ボタン型リチウム電池を押しながら、引き出す。**

❸ **新しいボタン型リチウム電池**CR2025**を⊕(プラス)面が見えるようにはめ込む。**

❹ **ボタン型リチウム電池ぶたを閉める。**

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店にお問い合わせください。

ファインダーや液晶画面に「C:□□: □□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。51ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	11
	•スタンバイスイッチが「ロック」になっている	•スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。	11
	•テープが終わりになっている。	•巻き戻すか、新しいテープを入れる。	10、20
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	10
	•テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	55
電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	1度スタンバイスイッチを下げてから、もう1度上げる。	11
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	14
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。	•フォーカススイッチを「自動」にする。	29
	•オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	•手動でピントを合わせて撮影する。	29
ファインダー内に⊗が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	55
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	12

次のページへつづく

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	ー	ー
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	ー	ー
液晶画面やファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	41
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが「入」になっている。	「切」にする。	15
画面が白すぎて画像が見えない。	明るいところでNIGHTSHOTを「入」にしている。	「切」にする。 または暗いところで撮影する。	15

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない。	電源スイッチが「ビデオ」になっていない。	「ビデオ」にする。	18
ビデオ再生ボタン►が働かない。	テープが終わりになっている。	テープを巻き戻す。	20
画像がぼけたり、映らなかったりする。	•テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。 •メニューの「エディット」が「入」になっている。 •ビデオヘッドが汚れている。	•調整し直す。 •「切」にする。 •別売りのクリーニングカセットできれいにする。	21 37 55
音声が小さい。または聞こえない。	音量を最小にしている。	音量を大きくする。	19

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない。	•バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。 •ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	•充電されたバッテリーを取り付ける。 •コンセントに差し込む。	6、7 9
エンドサーチが働かない。	•撮影後にカセットを取り出した。 •カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、１度も撮影していない。	ー ー	17 17
バッテリーの消耗が早い。	•周囲の温度が極端に低い。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	ー •満充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	ー 7 6
カセットが取り出せない。	•電源(バッテリーやACパワーアダプター)がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	6、9 6、7
💧や⏏が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	55

次のページへつづく

その他

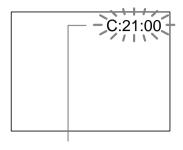
こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	37
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	ー
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	60
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	60
日付または時刻表示が「--:--:--」になる。	ー	日付、時刻を合わせ直す。	43
おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。	•結露している。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	55
	•本機に異常が発生している。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。	ー
バッテリー充電中、表示窓に何も表示が出ない。または表示が点滅する。	•ACパワーアダプターが外れている。	•電源をきちんと接続する。	9
	•バッテリーが故障している。	•テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。	ー

自己診断表示ーアルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面、ファインダーまたは表示窓にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

ファインダー（または液晶画面）

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく状態

表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:04:□□	"インフォリチウム"以外のバッテリーを使用している。	"インフォリチウム"バッテリーをご使用ください。	ー
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	55
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	55
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。 •電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。	ー ー
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	ー

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、（　）内のページにあります。

警告表示

ヘッド汚れの警告
遅い点滅
• ヘッドが汚れている。クリーニングカセットで掃除する必要がある（55）

バッテリー消費時の警告
遅い点滅
• バッテリー残量が少ない

速い点滅
• バッテリー残量がない（7）
• バッテリーそのものの寿命

状況によってはバッテリー残量が5分から10分ほどでも警告表示が点滅することがあります

自己診断（51）

結露の警告
速い点滅
• 結露している
テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する（55）

C:21:00

テープを取り出す必要がある警告
遅い点滅
• テープが誤消去防止状態になっている（10）

速い点滅
• 結露している（55）
• テープが終わっている（10、18）
• 自己診断表示が出ている（51）

テープ関連の警告
遅い点滅
• テープ残量が5分を切った
• テープが入っていない（10）
• テープが誤消去防止状態になっている（10）

速い点滅
• テープが終わっている（10、18）

ボタン型リチウム電池の警告
遅い点滅
• ボタン型リチウム電池の消耗または取り付けられていない（46）

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。
メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください（6）
- このバッテリーは古くなりました　取りかえてください（6）
- “インフォリチウム”バッテリーをつかってください（8）
- テープが終わっています*（10、18）
- カセットを入れてください*（10）
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*（10）
- メニューで日付・時刻をあわせてください（43）
- ヘッドが汚れています／クリーニングカセットをつかってください（55）
- 結露しています　カセットを取りだしてください*（55）
- ボタン型リチウム電池を取りかえてください（46）
- カメラ録画ボタンをおしてください（11）
- ORC（40）

*警告表示／お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

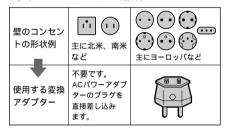
海外で使う

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10A は、AC100V〜240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「ETC 時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは37ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、ファインダーや液晶画面に下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

（5秒間表示）

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出しスイッチ以外は働きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。

次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLD/V8-25CLDRを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- ファインダー内または液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

初期 → 末期

このような画像になったら、
クリーニングカセットをお使いください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

ファインダーをきれいにする

❶ **1.ネジをはずす。2.つまみを上にずらしながら、3.接眼部を反時計回りに回してはずす。**

❷ **カメラ用のブロワーブラシなどで、ゴミを取り除く。**

❸ **接眼部を時計まわりにねじ込み、1のネジを締める。**

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

主な仕様

システム

録画／録音	回転2ヘッドヘリカルスキャン FM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
録画／再生時間	SPモード:2時間 LPモード:4時間(120分テープ使用時)
早送り、巻き戻し時間	約5分（120分テープ使用時）
ファインダー	電子ファインダー（白黒）
撮像素子	1/6 インチCCD固体撮像素子 約27万画素（有効画素数：約25万画素）
ズームレンズ	20倍（光学)、80倍（デジタル） f=3.6〜72mm （35mmカメラ換算では 51.8〜1036 mm） F1.4〜2.9 フィルター径37mm
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	6ルクス（F1.4） 0ルクス（NIGHTSHOT時）

入・出力端子

S映像端子	Y出力　1Vp-p 75Ω不平衡 C出力　0.286Vp-p 75Ω不平衡
映像出力端子	1Vp-p 75Ω　ピンジャック
音声出力端子	327mV（47kΩ負荷時）　ピンジャック
RFU DC出力端子	特殊ミニジャック DC5V
イヤホン端子	モノラルミニジャック（Ø3.5）
LANC端子	ステレオミニミニジャック（Ø2.5）
マイク入力端子	モノラルミニジャック（Ø3.5）

液晶画面

画面サイズ	2.5型
総ドット数	61,600ドット 横280×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	2.3W （ファインダー使用時） 2.7W （液晶画面使用時、明るさ標準）
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	–20℃〜+60℃
外形寸法 (最大突起部をのぞく)	102 × 106 × 212mm （幅×高さ×奥行き）
本体質量	約 850g（本体のみ）
撮影時総質量*	約 990g * バッテリーNP-F330、ボタン型リチウム電池CR2025、120分テープ含む。
付属品	ACパワーアダプターAC−L10A(1) バッテリーパック NP−F330(1) ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）(2) AV接続ケーブル（1） ボタン型リチウム電池 CR2025（本体に装着済み）(1) キャリングバッグ（1） ショルダーベルト（1） ハイエイトビデオカセット（1） 撮り方ビデオ（1） 取扱説明書（1） 安全のために（2） 保証書（1） ハンディカムカスタマーご登録のお勧め（1） カスタマーご登録はがき（1） カスタマーご登録CD-ROM（1）

ACパワーアダプターAC-L10A

電源	AC100~240V、50/60Hz
消費電力	23W
定格出力	DC8.4V、1.5 A
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	–20℃〜+60℃
外形寸法 （最大突起部をのぞく）	約125× 39 × 62 mm （幅×高さ×奥行き）
質量	約 280g（本体のみ）

バッテリーパックNP-F330

電圧	7.2V
容量	5.0Wh（700mAh）
種類	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

”故障かな？と思ったら ”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

アイカップ
(55ページ)

視度調節つまみ
(14ページ)

ファインダー取りはずしつまみ
(55ページ)

電源スイッチ
(11ページ)

ズームレバー
(13ページ)

液晶画面明るさボタン
(12ページ)

バッテリー取りはずしボタン
(6ページ)

フォーカススイッチ
(29ページ)

スタンバイスイッチ
(11ページ)

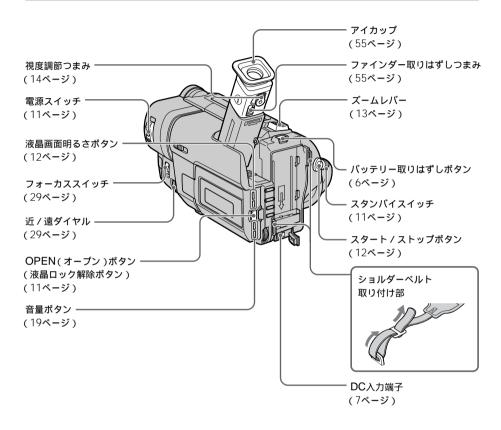
近／遠ダイヤル
(29ページ)

スタート／ストップボタン
(12ページ)

OPEN（オープン）ボタン
（液晶ロック解除ボタン）
(11ページ)

ショルダーベルト
取り付け部

音量ボタン
(19ページ)

DC入力端子
(7ページ)

この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。

ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は, 純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

キャリングバッグに入れるとき

検索する

各部のなまえ（つづき）

ビデオ操作ボタン（18、20ページ）

エディットサーチボタン（17ページ）

レンズカバー（11ページ）

録画ランプ（12ページ）

赤外線発光部（15ページ）

内蔵マイク

NIGHTSHOT**スイッチ**（15ページ）

表示窓（61ページ）

リモコン受光部（60ページ）

三脚用ネジ穴（底面）
ネジの長さが6.5mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

カウンターリセットボタン（11ページ）

日付ボタン（16ページ）

時刻ボタン（16ページ）

画面表示ボタン（19ページ）

エンドサーチボタン（17ページ）

タイトルボタン（30ページ）

ファインダー（14ページ）

カセット取出しスイッチ（10ページ）

LANC**(リモート)端子**

カセット入れ（10ページ）

グリップベルト

S**映像端子**（21ページ）

ライトスイッチ（34ページ）

内蔵ビデオライト（34ページ）

RFU DC**出力端子**（21ページ）

マイク（プラグインパワー）端子（ステレオミニジャック）

映像／音声端子（21ページ）

イヤホン端子

LANC(リモート)マークについて

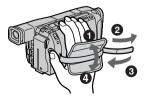
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

イヤホンを使うと

スピーカーから音は出ません。

別売りの外部マイクを使う場合

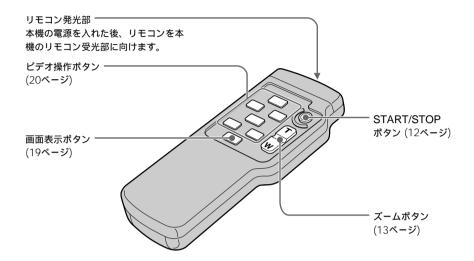
マイク(プラグインパワー)端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。2ピンプラグのマイクの場合は、DC出力端子を外部マイク用電源端子としてお使いください。

グリップベルトのしめ方

グリップベルトはしっかりとしめてください。

次のページへつづく

ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 ❷ 入れる。 ❸ 元に戻す。

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示

録画モード表示（40ページ）／
対面撮影表示（12ページ）

ハイエイト表示
（14、45ページ）

バッテリー残量表示
（14ページ）

ズーム表示（13ページ）／
明るさ表示（28ページ）

フェーダー表示
（24ページ）

ワイドTVモード表示
（22ページ）

ピクチャーエフェクト表示（25ページ）

液晶画面明るさ調節表示
（12ページ）／
音量調節表示（19ページ）

プログラムAE表示
（26ページ）

逆光補正表示
（15ページ）

手動ピント合わせ表示
（29ページ）

撮影スタンバイ・撮影中表示（11ページ）／
テープ走行表示（20ページ）

テープカウンター表示
（14ページ）／
自己診断表示
（51ページ）

テープ残量表示
（14ページ）

エンドサーチ表示
（17ページ）

オートデート表示
（44ページ）／
日付表示（16ページ）

時刻表示
（16ページ）

NIGHTSHOT**表示**
（15ページ）

警告表示
（52ページ）

録画ランプ（ファインダーのみ）（12ページ）

40 分
Hi8 SP スタンバイ
0:00:00
W T
フェーダー
ワイド シネマ
セピア
エンドサーチ
2000 7 4
12:00:00 AM

表示窓の表示

ハイエイト表示
（14、45ページ）

録画モード表示
（40ページ）

テープカウンター表示
（14ページ）／**日付・時刻表示**
（16ページ）／**自己診断表示**
（51ページ）／**バッテリー残量表示**
（14ページ）

警告表示（52ページ）

満充電表示（7ページ）

バッテリー残量表示
（14ページ）

主な機能ガイド

明るさが気になるときの機能［撮影中］

あたりが真っ暗なとき	NIGHTSHOT	15ページ
花火大会や夕暮れ、夜景を撮るとき	サンセット＆ムーン	26ページ
逆光（被写体の背後に光源がある）のとき	逆光補正	15ページ
結婚式・舞台など、一部分が明るいとき	スポットライト	26ページ
スキー場、海岸などとても明るいとき	ビーチ＆スキー	26ページ

インパクトある画像を作るための機能［撮影中］

場面転換する	フェードイン・フェードアウト	23ページ
画像をデジタル処理したい	ピクチャーエフェクト	25ページ
被写体を引き立てたい	ソフトポートレート	26ページ
タイトルを入れたい	タイトル	30ページ

さりげなく自然な画像にするための機能［撮影中］

ズーム時の画質低下を押さえたい	メニュー：デジタルズーム	37ページ
意図的にピントを合わせたい	手動ピント合わせ	29ページ
遠くの被写体にピントを合わせたい	風景	26ページ
ゴルフスイングなどの速さをとらえたい	スポーツレッスン	26ページ

撮影後の編集・お手持ちの機器との接続のための機能［撮影中］

ワイドテレビで見る予定のとき	ワイドTVモード	22ページ
日時を入れる	日時	16ページ
テープが古いが少しでも状態をよく撮りたい	メニュー：ORC	37ページ

撮影し終わったテープで行う機能［再生中］

画像のゆれを補正したい	メニュー：TBC	37ページ
画像の色ノイズを補正したい	メニュー：DNR	37ページ

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

検索する

カスタマー登録のご案内

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。詳しくは同梱の「ハンディカム カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

電話のおかけ間違いにご注意ください。

カスタマー登録に関する問い合わせ
ソニーマーケティング（株）カスタマー専用デスク
電話： 03-3584-6651
受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■ テクニカルインフォメーションセンター
本機をお使いになって不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談窓口です。
電話： 0564-62-4979
受付時間：　月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

D-Imaging World（デジタルイメージングワールド）
ハンディカムやデジタルスチルカメラを楽しく使っていただくためのホームページです。
http://www.sony.co.jp/di-world/

Sony online　http://www.world.sony.com/
「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ　●ナビダイヤル：0570-00-3311（全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）　●携帯電話・PHSでのご利用は：03-5448-3311
●Fax：0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

Printed in Japan